

電動二輪パーソナルコンピューター「ACTIVA e:」「QC1」をインドで発表

Honda は、インドにおいて、交換式バッテリー「Honda Mobile Power Pack e: (モバイルパワーパック イー) 」2 個を動力用電源に採用した「ACTIVA e: (アクティバ イー)」、固定式バッテリーを搭載した「QC1 (キューシーワン)」の電動二輪パーソナルコンピューター 2 機種を発表しました。

- 電動二輪パーソナルコンピューターACTIVA e:と QC1 をインドで発表
- ACTIVA e:と QC1 は、「2030 年までに、グローバルで電動モデルを 30 機種投入^{※1}」目標における 12 機種目・13 機種目として投入
- インド市場の特性やお客様の嗜好を取り入れた Honda ならではのインド専用モデル
- インドの主要 3 都市において、バッテリーシェアリングサービス「Honda e:Swap (ホンダ イースワップ)^{※2}」を展開

Honda は、2050 年に Honda の関わる全ての製品と企業活動を通じて、カーボンニュートラルを実現することを目指し、2040 年代には全ての二輪製品でのカーボンニュートラルを実現することを目指しています。この目標を達成するため、今後の環境戦略の主軸として二輪車の電動化に取り組んでいます。

2024 年を電動二輪車のグローバル展開元年と位置付け、電動二輪市場への参入を本格化し、Honda は今年 2 機種をインドネシアで発表しました。今回発表した ACTIVA e:と QC1 は、「2030 年までに、グローバルで電動モデルを 30 機種投入」における、それぞれ 12 機種目、13 機種目に相当し、目標に対して着実に歩みを進めています。

ACTIVA e:と QC1 は、両モデルともインド国内での生産となり、インド市場で高まる電動モビリティへのニーズに応じて電動コンピューターのラインアップを強化していきます。

また、インドの主要 3 都市(ベンガルール、デリー首都圏、ムンバイ^{※3})において、Honda Power Pack Energy India Private Limited がバッテリーシェアリングサービス Honda e:Swap を展開。お客様により安心な移動体験を提供します。

Honda は、これからもより多くのお客様のご要望に応えられるように、コンピューターをはじめとした電動二輪車のフルラインアップ化への取り組みを加速させ、電動二輪車の多彩なバリエーションを構築していきます。

※1 2023 年 11 月 29 日に開催した「2023 Honda 電動二輪事業説明会」において公表

※2 Honda e:Swap は、インドの現地法人 Honda Power Pack Energy India Private Limited (HEID)が提供するサービス

※3 インド主要 3 都市のうち、ベンガルール、デリー首都圏ではサービス提供開始済、ムンバイは 2025 年春に提供開始予定

■ACTIVA e:

ACTIVA e:は、インド市場全体、また、Honda の二輪車においても最量販モデルで、年間約250万台を販売する「ACTIVA」のボディー・フレームをベースに新規開発し、交換式バッテリーHonda Mobile Power Pack e:を動力源として2個搭載した排気量110cc相当の電動コミュニケーションモデルです。

デザインは、インドのお客様から定評のあるACTIVAのスタイリングを踏襲しながら、一目で電動二輪車とわかるシンプルなスタイリングと、フロントコンビネーションライトおよびリアコンビネーションライトやウインカーをLED化することで先進性を演出しています。



ACTIVA e:

動力用電源には、交換式バッテリーのHonda Mobile Power Pack e:を2個使用。Honda 独自開発の自社製ホイールサイドモーターを採用し、定格出力4.2kW、最大出力6.0kWを発揮します。また磁気回路と構造の最適化により高効率化を図ることで、日常の使い勝手に十分な航続距離102km^{※4}を実現しています。

さまざまな走行シチュエーションやお客様の好みに応じて、3つの走行モード（STANDARD、SPORT、ECON）から選択ができ、駐車時に便利なリバースモードも搭載しています。

さらにバイクとスマートフォンをBluetooth[®]^{※5}接続することで、通話やナビゲーション機能などを利用できるHonda独自のサービス、Honda RoadSync Duo[®]^{※6、7}を装備したタイプも設定しています。

ACTIVA e:は、インドの主要3都市（ベンガルール、デリー首都圏、ムンバイ）で2025年春に販売する予定です。この3都市においては、Honda Mobile Power Pack e:を用いたバッテリーシェアリングサービスHonda e:Swapを提供することにより、お客様がバッテリー切れの不安や、充電の待ち時間から解放され、より安心な移動体験することができます。

※4 IDCモードでのHondaテスト値

※5 Bluetooth[®]は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です

※6 Honda RoadSync Duo[®]のご利用には専用アプリのインストールが必要です

※7 Honda RoadSync Duo[®]の詳細については、<https://global.honda/en/roadsync-duo/>（英語版）を参照ください

■QC1

QC1 は、これまで Honda が培ったガソリン車の技術やノウハウ、信頼性を踏襲したモデルで、通学など、日常の近距離移動に最適な動力性能を実現するとともに、経済性重視のお客様への最適な選択肢として、インド市場専用に 2025 年春に投入するモペッドです。



QC1

動力用電源には、高いエネルギー密度と長いサイクル寿命を実現するバッテリーセルを採用した、1.5kWh の固定式バッテリーを搭載。専用充電器による家庭での充電が可能となります。

後輪にコンパクトなインホイールモーターを採用し、定格出力 1.2kW、最大出力 1.8kW を発揮します。またパワーコントロールユニットがモーター出力を効率的に制御することで、一充電あたりの航続距離は 80km^{※8} を達成。クリーンで静かな走行を可能にしています。

安心感と先進性を共存させたデザインとし、ヘッドライトは凹凸のないフラッシュサーフェスデザインとするとともに、アイコンニックな表情を演出。また灯火器には、夜間走行時の安心感にも貢献する高輝度な LED を採用しています。

メーターには、5 インチの液晶メーターを採用。スピードメーターに加え、バッテリーの残量表示などさまざまな情報をシンプルに表示することで、利便性を高めています。

シート下には、ヘルメットを収納するスペースの他、小物の収納が可能なラゲッジボックスを確保。また、フロント部内側にはフロントインナーラックと、携帯端末の充電にも便利な USB Type-C ソケットを標準装備。日常で使い勝手のよい機能を備えています。

※8 IDC モードでの Honda テスト値